



敬老の日
(9月15日)

お知らせ

ほ場整備・農道舗装(平成二年度分) 9月中にお申し込みください

村単補助事業の「ほ場整備」、「農道舗装」の平成二年度分申し込みを受け付けます。希望者は、九月末までに、建設課へお申し込みください。(申込用紙は、建設課に用意してあります)

この補助事業は、村の地形に見合う小規模な「ほ場整備」と急勾配の「農道舗装」を行うことにより、農業経営の近代化を進めようとするものです。

補助率は、二〇％(ほ場整備)と三〇％(農道舗装)ですが、次の基準を満たしていなければなりません。

- ▲ほ場整備(補助率二〇％)
 - ①個人または共同で、一団地二〇アール以上(水張り面積)。
 - ②畦畔の土羽勾配は一分、築立の内法は八分、外法は一分以上、天端幅は一メートル以上。
 - ③ほ場整備に付帯して農道を作る場合、起点は国、県、村、農林道とし、延長二〇〇メートル以内で車両通行可能なもの。
 - ④水源(井戸、ため池等)は、補助対象外とする。

- ▲農道舗装(補助率三〇％)
 - ①個人または共同で、受益面積五〇アール以上。
 - ②一路線一〇メートル以上一五〇メートル以内。(部分舗装も含む)
 - ③幅員三メートル以上(有効幅員二メートル)で勾配一五％以内。
 - ④起点が三メートル以上の国、県、村、農林道に接続していること。
 - ⑤舗装はコンクリート(アスファルトを含む)で、厚さ五センチ。ただし、側溝伏設、路盤整正工、打設は補助対象外とする。
 - ⑥補助対象経費は、材料費(コンクリート、アスファルト)とする。

寺泊老人ホーム

職員募集

「長岡栃尾三古組合立・寺泊老人ホーム」が、来春(四月一日)採用の職員を募集します。内容は次のとおりです。

- 職種及び採用人員
 - ・生活指導員(男)一人・寮母(女)一人・調理員二人
- 受験資格

長岡市、栃尾市、三島郡及び古志郡の町村のいずれかに住所または本籍を有する人

- ・生活指導員は、昭和三十五年四月一日から四十四年四月一日までに生まれた人で、福祉系大学を卒業または卒業見込みの人
- ・寮母(女)は、昭和三十五年四月一日から昭和四十五年四月一日までに生まれた人で、社会福祉主事任用資格または介護福祉免許を有するか取得見込みの人
- ・調理員は、昭和三十五年四月一日から昭和四十五年四月一日までに生まれた人

■受験手続
「受験申込書」により寺泊老人ホーム(〒940-115、三島郡寺泊町金山四三三)へお申し込みください。

■受験申込受付期間
平成元年九月一八日から九月三〇日まで

■試験期日及び場所
平成元年一〇月一九日(木)、寺泊老人ホームにて

■採用予定年月日
平成二年四月一日

■その他
「試験案内」及び「受験申込書」は、住民課福祉係に備えてあります。不明の点は寺泊老人ホーム(☎〇二五八-七五-二〇三八)へお問い合わせください。

犬の登録は 飼い主の義務

猫や犬が車にひかれたり、犬が人をかんだりという事故が起こっています。村内でも捨て猫や放し飼いの犬が目につきます。飼い主は自分には馴れているからと案外軽い気持ちで放し飼いにしているのではありません。他人から見ると放し飼いの犬は、愛情を持ってきちんと飼いましょう。

- 捨て猫・捨て犬は、絶対にしない。
- 犬の放し飼いは、しない。
- 犬は通行人や来訪者に危害を加えるおそれのない場所につなぐ。
- 毎日運動させる。
- ※家庭の事情等でやむを得ず引取りを希望する場合は、「中越動物保護管理センター☎三四一-四一六」へ連絡してください。

また、犬の登録と狂犬病予防注射はお済みですか。生後九日以上の犬で登録・予防注射をしていないものや、これらが明らかでない犬も、三〇日以内に必ず登録・予防注射をしてください。室内犬も同じです。なお、受けない場合は、罰金が適用されます。

お問い合わせは、前記中越動物保護管理センターへどうぞ。



8月14日に 成人式

これからは
責任と自覚を
ベストを尽くします!

山古志村恒例のお盆の成人式が、今年も八月一四日に村民会館で行われました。対象者は五三人、うち出席者は三八人でした。

九時三〇分の開式前に、新成人が三々五々連れ立って集まってきました。やや緊張し、ややほかにみながら、それぞれのファッションで若さを体中から溢れさせている新成人たち。久しぶりに会った人たちは、なつかしうに顔を見合わせていました。

式はホールで行われ、まず国歌斉唱。その後村長の式辞、来賓祝辞と続きました。村長祝辞は「山古志村に生まれたことを誇りに。二世紀の高令化社会を支える責任がある」という内容。議長祝辞は「権利と義務と責任をわきまえ、頑張ってください」と。さらに教育委員長は「人生は長いようで短い、その時々を大切に生きてください」と話されました。そして式の最後に、新成人を代表して坂牧由紀子さんが「新成人誓いの言葉」を述べ式が終了しました。

一同はこの後記念写真を撮影し、毎年恒例の長岡着柴神社参拝を行い、村民会館に戻って懇親会で成人を祝い合いました。

(関連記事③ページ)

山古志村消防団

人員・機械器具異常なし!

五〇〇人が参加 三島・古志郡連合消防演習

平成元年度三島・古志郡連合消防演習が、山古志会場で行われ...



運営する研究を行い、消防施設の充実強化を図るとともに、団員としての諸訓練に習熟せしめ旺盛な...

七月三日といえは一年中で一番熱い時です。この中制服、制帽で山古志村消防団員は二〇〇人が...



ポンプ操法をする第一分団 第二班(種芋原)

「まず」とありました。また、参加全消防団を代表して山古志村第二分団(虫亀・佐藤清分団長)が...

にわたり消防団幹部として功績のあった奇藤利治さん(池谷と小川秀夫さん(小松倉)が、そして、...

山古志村消防団幹部名(敬称略)

長 川上 孫一

副団長 樺沢 忠春

訓練部長 関 正之

技術部長 佐藤 茂夫

子防部長 星野 武雄

第一分団(種芋原地区)

分団長 樺沢 正利

副分団長 長谷川 実

一班々長 坂牧 一作

二班々長 小川 久男

三班々長 小川 恒英

四班々長 樺沢三治郎

第二分団(虫亀地区)

分団長 佐藤 清

副分団長 小林 繁政

一班々長 五十嵐英益

二班々長 松田 誠

三班々長 長島 正雄

第三分団(三ヶ地区)

分団長 奇藤 利治

副分団長 畔上 完二

一班々長 奇藤 明

二班々長 畔上 勝

三班々長 五十嵐仁郎

第四分団(竹沢地区)

分団長 岡本 利男

副分団長 川上 博己

- 一班々長 星野 透
●二班々長 星野 丈夫
●三班々長 小川 恒夫
●四班々長 高野 徳義
●第五分団(東竹沢地区)
○分団長 藤井 元一
■副分団長 小川 秀夫
●一班々長 五十嵐文男
●二班々長 浅染 正幸
●三班々長 小川 松一

部隊訓練の模範演習をする 第二分団(虫亀)



20歳を迎えて ひつこく!

これから、娘と一緒に大人になつていきたいと思ひます。

川上勝枝

いろいろなことを、これからはつと学んでいきたい。

畔上 暁

責任のある行動を。

川上ひろみ

成人を迎えたからといって自分が変わるわけではないので、これから今まで通り自分らしく頑張つていきたいです。

関美和子

私も成人になったかきり、堂々としていろいろなことにチャレンジしたいと思ひます。仕事の面でも頑張りたいですね。

川上淳子

これからは一生懸命、長い人生を生きよう。

長島あゆ子

新成人 誓いの言葉

本日私達が成人としての門出にあたり、この様な盛大な式を挙げて出発をお祝いだき、身のひきしまる思ひでございませす。心から御礼申し上げます。



新成人誓いの言葉を述べる坂牧由紀子さん

誓いの言葉といたします。

平成元年八月一四日 新成人代表坂牧由紀子

53人の新成人

種芋原

小川清 坂牧由紀子 湯本静子 樺沢和幸 坂牧雅英 坂牧光秋

新成人のみなさん

園分由美子(旧性金内)

虫亀

西原和徳 五十嵐朝子 五十嵐弘美 石原和枝 長島洋子 峰村恵子 田中清二 田中康照 佐藤恵子 長島あゆ子

竹沢

青木陽一 五十嵐広文 小池太志 小池康直 佐藤和幸 高野国利 星野浩章 関美和子 高野久枝 星野和代 星野名保子 星野由加 青木峰子 関克之 星野俊哉 佐藤律子 榎橋希和(旧性小川)

東竹沢

五十嵐猛 関新吾 関秀明 関秀樹 村越みどり(旧性浅塗)

川上勝枝 川上淳子 川上ひろみ 増田勝美

南平

奇藤和也 奇藤四郎吉 奇藤力 星野稔 五十嵐ちづ子 五十嵐則子 星野幸恵 星野由子 畔上 五十嵐正栄

敬称略

新潟県統計協会が毎年発行し、利用者好評の県民手帳。一九九〇年版を今予約受付中です。この手帳は新潟県の観光案内図、東京地下鉄路線図、各地の行事、過去五年間の毎日の天候など暮らしに役立つ情報が多く掲載されており、一冊持っているだけでかなりの物知りになれるというたいへん便利な手帳です。ぜひ一冊ご購入ください。価格は三六〇円、お申し込みは総務課へどうぞ。(☎五九一三三三〇)

回覧でも予約取りまとめを行います。

県民手帳 予約受付中

竹沢の花火の写真を探しています

今年私達新成人が記念に竹沢の花火大会に協力をいたしました。この花火のビデオか写真をお持ちの方がおられましたら、拝借をお願いしたいと思います。恐縮ですがお持ちの方は、次にご連絡いただければ幸いです。

・竹沢佐藤和幸 五九一三三三〇

・梶金関新吾 五九一三三三〇

コスモス



9月15日 山古志中学校で 敬老会

九月十五日は、敬老の日。毎年村が行う敬老会は、今年山古志中学校体育館を会場に開かれます。今年敬老会に参加いただく七〇歳以上のお年寄りの人たちは四四三人で、昨年の四四五人とほぼ同人数です。当日は式典、祝宴等が行われ、米寿・金婚等の該当する人には、記念品が贈られます。そのほか、各種のアトラクションなどもあり、参加された人たちからは一日ゆつくり楽しんでいただく内容の敬老会が計画されています。

●今年度米寿を迎えられる方
■川上市蔵 (梶金正吾方)



佐藤タカさん

▶新聞も全部読むという佐藤さん。家の周辺の草とりも、春からみんな一人です。

米寿のみなさん



川上市蔵さん

▶「今山からフキを探ってきたばかり」と川上さん。山着姿でたいへんお元気で。



長島金治さん

▶「かくしゃく」とは、長島さんのための形容詞。歩く姿など若い人と同じです。



斉藤利得さん

▶戦争に行った後遺症の神経痛で足が悪いがと斎藤さん。それでも自家用野菜は全部自分で。

山古志村長寿番付(上位30人、敬称略)

順位	氏名	生年月日(年齢)	地区	世帯主
1	浅染ムメ	明治26.9.26(95)	木籠	伊吉
2	五十嵐イシ	27.3.14(95)	池谷	利雄
3	長島多郎吉	28.8.22(94)	虫亀	辰太郎
4	坂牧トメシ	28.12.21(93)	種芋原	亨
5	川上キセ	29.2.22(93)	下村	孫治
6	金内ヒロマ	30.9.13(91)	種芋原	伝太郎
7	酒井ヒイノ	31.1.7(91)	虫亀	彦四郎
8	八久保イソノ	31.1.10(91)	油夫	利営
9	坂牧ヨシト	31.3.15(91)	種芋原	駒夫
10	五十嵐ヨキ	31.7.12(91)	虫亀	俊一
11	長島ヨキ	32.9.20(89)	虫亀	辰太郎
12	坂牧ヨキ	32.11.16(89)	種芋原	勇雄
13	長島マキ	32.11.22(89)	虫亀	政一
14	坂牧ヨシト	32.12.31(89)	種芋原	晟
15	五十嵐次セ	33.3.10(89)	虫亀	弘
16	五十嵐ヨキ	33.9.30(88)	虫亀	与作
17	川上キセ	34.1.12(88)	種芋原	清治
18	五十嵐ソツ	34.1.15(88)	梶金	加一
19	金子十四郎	34.2.24(88)	虫亀	昭治
20	坂牧市蔵	34.3.7(88)	種芋原	義一郎
21	川上リカ	34.5.2(88)	梶金	正吾
22	畔上リカ	34.10.8(87)	木籠	喜一
23	佐藤利得	34.10.18(87)	種芋原	誠
24	斉藤島信	34.10.29(87)	虫亀	本英
25	長高野イナ	35.3.28(87)	虫亀	谷信
26	長間イナ	35.5.8(87)	虫亀	平一郎
27	風間イナ	35.6.10(87)	虫亀	長一
28	五十嵐富シ	35.6.10(87)	種芋原	悦
29	五十嵐富シ	35.7.19(87)	虫亀	美人
30	長島	35.7.30(87)	虫亀	本

●今年度金婚を迎えられるご夫婦
◆影山松太郎・ソカ (種芋原)
◆小川広太・マキ (小松倉)

●今年度米寿を迎えられる方
■呼上リノ (木籠喜一方)
■佐藤タカ (種芋原誠一方)
■長島金治 (虫亀英直方)
■斎藤利得 (虫亀)

種芋原

・坂牧 峯松 ・佐藤 三郎
・坂牧 セン ・樺沢 太一

虫亀

・五十嵐福一 ・佐藤 ミユ
・佐藤 モセ ・石原 ミナ

東竹沢

・小川根之吉 ・小林 トリ
・小川 マキ ・上田 ヨシ
・川上 ナツ ・小川 ヨノ
・五十嵐 なみ

南平

・斎藤 繁作 ・星野 トラ
(敬称は略させていただきました)

私のふるさと創生論(二)

人材育成、観光開発、克雪、働く場、やりたいことはいっぱい

先月号にひきつづき、村民のみなさまのふるさと創生論をご紹介します。

私は正直言って「一億円というのは、何をやるにしても中途半端なお金だと思えます。でも、もらえるお金ならどんなに少なくても、村のために有効に使わなくてはならない。

そこで私の考えですが、まず第一に一億円にこだわらないことだと思ふ。最初に言ったように、一億円では何もできないと思ふ。

●私の提案
私は教育尊重の村民性をさらに高めて、広く社会に貢献する人材を育成するため、今こそ「人材育成基金」の設立を強く望みます。その運用については、委員会を作り研究することになると思ふ。私が、私の考えている概略を申し上げます。

①経済的理由で修学が困難な村民の子弟への、奨学金援助。
②国際化社会へ対応するため、外国人講師の招致。
③中小企業従業員や若手農業者の派遣研修への援助。

虫亀・佐藤武一

①いろいろな人から山古志村に来てもらう。
②山古志村が全国的に有名になる。
③ここに来なくてはできないものを作る。
④有名な人が来る。

この①から④までを満たすものはズバリ、「五〇m公認室内温水プール」しかないと思ふ。これにより間違いない、全国から一流スイマーが集まって来る。当然宿泊施設も必要となります。

竹沢・星野重行

一九九〇年代は、国際化の時代と言われる。国際化には「モノ」、「カネ」、「ヒト」の三つの側面があると言われ、今後「ヒト」の国際化が急速に進むと予想される。このため、二一世紀の国際化に対応できる人材育成のために「ふるさと創生一億円」を使い、村内の若者(中学・高校生を含む)を海外研修(留学)させる制度を作ってはどうか。

当村では国際化と言ってもピンと来ないし、外国人にふれる機会も少ない。まして対等に会話することなど、現段階では難かしい。

一億円を人口割で各地区に分配する。一カ所に使うと不公平になる。こうすれば身近な問題となり、一人一人が本気で考え大切に使うと思ふ。

空家が目立つがこれを買い取り、都会の人に貸したり売ったりするのも良いと思ふ。

種芋原のあまやちの池周辺に、大規模なレジャー観光施設建設の可能性はないか。
老人いこいの家を種芋原か池谷あたりに建設する。これからの急激な高齢化社会の到来を控え、早急に建設するのが望ましい。

種芋原・金内友次

山古志全体を良くするには、人間が住みやすくすること。
これには、若い人も年とった人も誰もが仕事ができるように、働く場を作りたい。誰もが働いて現金が得られるような環境にして欲しいと思ふ。

若いうちに外国を見聞き、生の生活体験をさせることにより、来たるべき国際化時代に対応できる人材が育成されると考える。

匿名

働く場を
高齢化社会と呼ばれる今日、へき地である山古志村では、働く場の開発を最も急がなければならぬと思ふ。それが過疎の原因となる若者の流出を防ぎ、過疎をくい止める一番の対策と思われまふ。また、嫁不足の現状に働く場所がない所には、益々嫁に来てくれる女性がいなくなるのは当然のことと思われまふ。豪雪地と言われ山古志村ですが、現在は道路も整備され、幹線道路は完全無雪です。豪雪地のイメージを捨て、胸を張って企業を誘致すれば、必ず山古志村の発展につながると思ふ。

山古志村に住む住民には、同じ行政サービスが欲しい。
今年暖冬で恵まれた年でありましたが、平年では豪雪地のため毎朝の道つげが困難です。このため圧雪車を一台購入していただきたいです。今、種芋原では村道だけ圧雪していますが、個人で一〇メートルも道つげしなくてはならない家もあります。そして、そういう家はたいがい老人世帯なのです。ですから、年をとるにしたがって住めなくなり、やむなく離村というかたちになります。お願いいたします。

種芋原・匿名

スキー場の建設
■場所 葦峰から屋内金方面へ。
■理由 滑れる期間が長く、今年のような小雪でも雪不足はなく、大雪の年なら桜の花見をしながらスキーができる。また、距離も長くこれ、一流スキー場に比べて遜色のないスキー場になると思ふ。

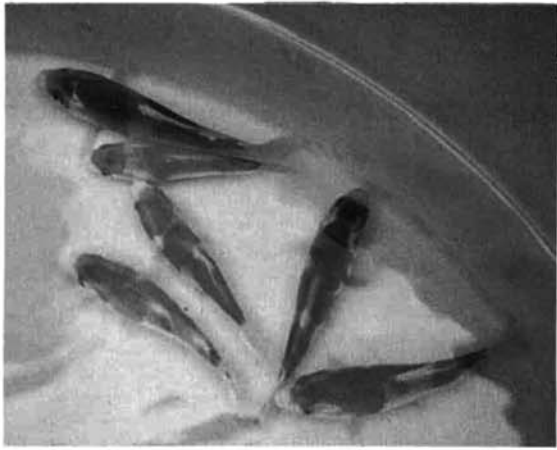
種芋原・匿名
克雪(無雪屋根)
冬、雪はあってもいいが、屋根の雪おろしがいらぬ。こんなふうになれば、老いも若きも山古志村に住み、活気ある村になる。一億円をもとに必ず実現してほしい。

竹沢・佐藤浩明



秋を占う 田上り品評会

漁協青年部の事業として昨年から始められた「錦鯉当歳田上り品評会」。今年も八月二〇日(日)に役場前で行われました。この時期はまだ錦鯉の成長最盛期で、色も模様もまだ安定していません。それでもプロの生産者同志が見れば、その鯉の秋揚りを予想することが出来ます。出品された鯉は各生産者が、親鯉の交配から産卵・孵化、そして何回かの選別と切磋琢磨した汗の結晶です。このため、出品鯉はそれぞれ特長があり優秀なのは当然とも言えるでしょう。出品者・出品数とも昨年とほぼ同じで、優勝した五色



四三人、三四四点でした。今年は宣伝に力を入れたのか、村外からのお客さんも多く見られ、今年のも全日本錦鯉品評会の総合優勝受賞者加藤根男さんの顔も見えたようです。

成績は次のとおりです。

- 総合優勝一席 金子 隆(虫亀) 三色
- 総合優勝二席 田中忠雄(虫亀) 三色
- 総合優勝三席 長島忠美(虫亀) 五色

- 優勝 齊藤 勝(虫亀) 紅白
- 準優勝 星野健太郎(竹沢)三色
- 青木金吉(竹沢) 昭和
- 五十嵐正作(虫亀) 金昭和
- 齊藤 斉(虫亀) 五色
- 星野要一(竹沢) 銀鱗三色
- 準備役 長島弘 星野和弘 坂牧雅良
- 星野由太郎 平沢弘志 酒井俊彰 藤井元一 星野久市
- 星野秀雄 佐藤昭司 五十嵐貞雄 石原平治 佐藤幸男 佐藤孝一

普及所から 農改コーナー 水稲の刈り取りについて

出穂日と成熟期は、品種によりおおよそ次の表のような関係があります。しかし、田植え時期や地形等の条件の違いで、品種が同じでも出穂時期にはばらつきがあります。その

品 種 名	出 穂 期	成 熟 期	成熟日数
五 百 万 石	7月25日	9月2日	39日
はつこしじ	7月26日	9月1日	37日
新 潤 早 生	7月29日	9月12日	45日
越 路 早 生	7月30日	9月6日	38日
こがねもち	8月5日	9月18日	44日
コシヒカリ	8月7日	9月22日	46日

※稲苗の五月一日〜五日植
※出穂期は今年の場合
※出穂期は今年の場合
※出穂期は今年の場合
※出穂期は今年の場合
※出穂期は今年の場合
※出穂期は今年の場合

乾燥調整について
玄米の乾燥仕上げ水分が、従来の一五％では規格外になることを心配しての過乾燥米が多く見受けられたことから、今年から一％上のせを当分の間認めるということになりました。しかし、乾燥調整にあたっては、従来どおり一五％仕上げを目安に過乾燥米の発生を防いでください。



鼓電会が鼓童村へ 研修旅行

關牛太鼓の普及に熱心な活動を続けている鼓電会。この鼓電会が八月二日佐渡の「鼓童村」へ研修旅行に出かけました。今回の研修には、日ごろ迷惑をかけている家族にも慰勞をと夫婦、子供連れの人が多く、一行二五人でした。鼓童と言えは日本はもとより、外国公演も行った実績があります。この鼓童について見学・説明を受けた鼓電会のみなさんは、意義ある研修旅行だったと話していました。来年は石川県の「浅野太鼓」を訪ねる予定です。



牛魂供養碑 建立

畜産農家有志が
萱峠牧場に
当村産業の一翼をになっている肉用牛。最近繁殖牛も取り入れた多頭飼育が進み、安定産業となつてきています。

肉用牛を飼っている家では、牛に感謝し毎年それぞれが「牛供養」を行っていました。先般畜産農家有志が集まり「牛魂供養碑」建立

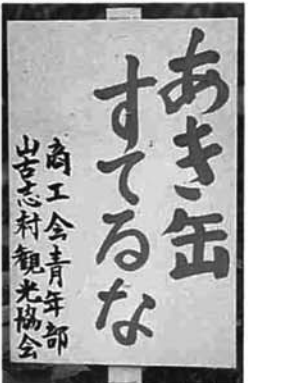


の話がまとまりました。賛同者は一人。建立場所は思案の末、当村の繁殖牛基地萱峠牧場がふさわしいのではと決まりました。

七月末に碑が完成。八月一〇日に畜産家、村、農協、普及所等が集まり、種芋原照寺の佐々木住職により入魂式が行われました。碑の大きさは高さ約六尺。展望台脇に立っています。これには「牛魂供養塔」と文字が刻み込まれています。この文字は酒井村長の筆によるものです。萱峠牧場に行かれたおりにご覧ください。

美しい自然を
守りましょう
最近「空缶公害」という言葉ができるほど空缶の投げ捨てによる散乱が目立ちます。車からの投げ捨てが多いのか、特に道路沿いに多いようです。

商工会青年部が
空缶散乱防止活動
商工会青年部は「このままでは山古志村の誇る美しい自然が守れない」と空缶散乱防止を目的に看板と袋を作りました。



ビニールの白い袋に、美しい自然を守りましょう、空缶はこの袋に入れてお持ち帰りください」と青字で印刷されています。この袋は、村内各商店に配られ、缶飲料等を購入された時にこの袋が使われることになっています。みなさまもこの袋と看板を見たら、商工会青年部の活動の趣旨をくみとり、今一度空缶散乱防止についてお考えただけたらと思います。

ゴミ処理場は
みんなのもの
村では危険物等のゴミ処理については、毎月一〇日に収集して種芋原と東竹沢の二カ所において埋立て処理をしています。埋立地の整備については、種芋原処理場はすでに用地を取得し、周辺にネットを張り、場内道路も造られて整備が終っています。東竹沢処理場については用地取得は終っていませんが、場内整備については現在設計段階です。両処理場とも完成後は、みなさまから有効にご利用いただきたいと思います。



整備された種芋原ゴミ処理場
しかし、現在の処理場のゴミ廃棄状況は、捨てられないゴミ(ダンボール等燃える物・生草・建設

9月の 納税保険料

- ★国民健康保険料 (9月分)
 - ★国民年金保険料 (9月分)
 - ★保 育 料 (9月分)
- 現場廃棄物・フロンタミ等が多量に見られます。こういうゴミが捨てられると火災の危険があります。処理場がたちまちいっぱいになってしまいます。絶対に捨てないでください。捨てられるゴミは、家庭から出る危険・不燃ゴミだけです。貴重なゴミ処理場の有効利用に、みなさまのご協力をお願いいたします。